

天城山&幕山山行報告

【山行日】2020年 11/21~22(土日)

【集 合】岩舟町役場P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 10,000円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、
島田、関、田村、福島、渡辺

【コースタイム】21日:岩舟町役場 P5:00

=天城高原登山口 P8:40/9:00~万次郎

登山口 9:20~万次郎岳 10:10/10:20~

万三郎岳 11:30~ブナ平 11:50/12:20~

瀬沢下降点 12:30~瀬沢分岐 13:30~

天城高原登山口 P14:20/14:45=

伊東園ホテル 15:40



21日 晴れ 天城高原登山口から万次郎岳&万三郎岳を登り瀬沢周回路を下って登山口へ

去年の11月に日帰りで天城山を計画したが、雨のため中止となった。今年は中止にできないよう幕山と併せて宿泊山行で計画した。万ー21日が雨になっても次の日に登れるよう、宿は中間にある伊東市のホテルに泊まることにする。



岩舟支所を5時に出発し、東北道から圏央道を走り小田原厚木道路を抜けてターンパイクに入る予定だった。ところがターンパイクは通行止めになっており、若干遠回りになるが箱根新道を通して伊豆スカイラインに行くルートに変更した。予定より遅れて登山口駐車場に着くと、第一駐車場はほぼ満車であったが、端のスペースに止めることができた。

大勢の登山者が次々に出発してゆく。我々も急

いで準備を整え、トイレを済ませストレッチを行って出発する。駐車場から道路を渡ったところが登

山口で、ここからしばらく下って行くと万次郎登山口に出る。ここは帰路の万三郎からの道との分岐になっており、左に沢沿いの道を万次郎岳に向かって登ってゆく。ヤマツツジなどの樹林の中を緩やかに登ってゆき、次第に傾斜が急こう配になると万次郎岳は近い。ヒメシヤラやドウダンツツジの樹林の急坂を頑張って登り詰めると、万次郎岳山頂に着く。山頂は樹木が茂り展望は得られないが、三角点と山頂の標識が立ち登山者が休憩している。



我々も休憩を取り、カキや菓子を食べて体を休める。

山頂からわずかに下ると樹林が切れ、万三郎岳と樹林におおわれた伊豆の山々が眺められる。ここから再び樹林に入り、鞍部まで下ったら馬ノ背まで登り返す。平らな山上の縦走路はアセビのトンネルで、栃木の山では見られない光景に感動する。アセビのトンネルを抜け、下りついた鞍部が石楠立である。ここから万三郎岳までの間には、見事なシャクナゲ群生地があり5月末頃には大勢の登山者で賑わう。万三郎岳への登りは登山道が雨で深く浸食され、登山道の脇に幾筋ものふみ跡がつけられ、道が分かりづらい。



大勢の登山者に押されるように急坂を登ってゆき、傾斜が緩くなると間もなく万三郎岳山頂

に着く。万三郎岳は日本百名山であり伊豆半島の最高峰だが、山頂は樹林に囲まれていて展望は得られない。山頂標識の前で記念写真を撮り、小休止したらすぐ先のブナ平まで行く。ブナ平は我輩が勝手につけた名前前で、ブナの大木や古木の原生林が素晴らしい場所だ。ここでランチタイムとし、キノコどんを作っておにぎりをいただく。だし巻き卵や竹輪、煮物、漬物などが並びいつものように食べ過ぎた。お腹が満たされたら下山する。下山はブナ平から少し下ったところに標識があり、右に折れて北側の尾根を下ってゆくが結構急なくだりで、足元に注意しながら慎重に下ってゆく。ブナの古木が混じる原生林を下ってゆき、片瀬峠への道に出会ったら右に進むと十字路

に出る。以前は万三郎山頂から北に派生する尾根を下って十字路に出たが、現在は今日降りてきたコースに変更されている。十字路からは万三郎岳から万次郎岳の北側を巻くように歩き、地図上では平らに見えるがアップダウンがあり結構大変な道だ。十字路から1時間ほど歩き、ようやく万次郎登山口の分岐までくる。ここからは15分ほど緩やかに登り、道路を横切ると駐車場に



に着く。駐車場は大勢の登山者で賑わっており、この時季に登れる山は、このあたりの山なのだろうなと思った。靴を履き替えてトイレを済ませたらホテルに向かい、予定通り伊東園ホテルに着く。受付を済ませると、GoToトラベルのお陰で宿泊料金は35%Offで1万円分の地域振興券をもらえた。部屋に着いたら早速温泉に浸かり、17:30からの夕食に備える。



に着く。駐車場は大勢の登山者で賑わっており、この時季に登れる山は、このあたりの山なのだろうなと思った。靴を履き替えてトイレを済ませたらホテルに向かい、予定通り伊東園ホテルに着く。受付を済ませると、GoToトラベルのお陰で宿泊料金は35%Offで1万円分の地域振興券をもらえた。部屋に着いたら早速温泉に浸かり、17:30からの夕食に備える。

に着く。駐車場は大勢の登山者で賑わっており、この時季に登れる山は、このあたりの山なのだろうなと思った。靴を履き替えてトイレを済ませたらホテルに向かい、予定通り伊東園ホテルに着く。受付を済ませると、GoToトラベルのお陰で宿泊料金は35%Offで1万円分の地域振興券をもらえた。部屋に着いたら早速温泉に浸かり、17:30からの夕食に備える。

今回は飲み放題付きのバイキングなので、反省会も無しにしてレストランへ向かう。皆さんプレートいっぱい好きなものを取り、好きな飲みゲットして乾杯！！

天気にもまれて山に楽しく登り、温泉に浸かって好きなものを食べ最高に幸せな顔になっている。お腹いっぱいになって部屋に戻り、明日に備えてすぐに床に就いた。

22日:伊東園ホテル 8:30=幕山公園P9:10/9:30~大石ヶ平 9:50/10:00~自鑑水分岐 10:55/11:00~幕山 11:20/11:40~幕山公園P12:30/12:50=食事処「まるひ」13:30/14:30=岩舟支所 P16:40

22日 晴れ 幕山公園Pから大石ヶ平経由で幕山に登り、南面登山道を下って幕山公園Pへ。

朝5時に起きて温泉に入り、7時からの朝食バイキングに向けてスタンバイする。7時にレストランに行き、開始のゴングが鳴らされバイキングが始まる。真剣な表情で好きなものをトレーに載せ、ト



レーがいっぱいになるとテーブルに置き又取りに行く。今度は皿いっぱい野菜や果物を取り、また取りに行く。

飲み物とデザートをテーブルに置くと、嬉しそうに食べ始める。いつもの朝食の3倍くらいは食べたのだろうか。最後はコーヒーをいただき、とても満足そう。朝食が済んだら部屋に戻り、出かける支度をしてチェックアウト。予定通り8時30分に出発して、予定通り幕山公園駐車場に着く。ここも人気の山らしく駐車場はすでに

満車になっていた。何とか駐車し、準備を整えたらトイレの前に移動し、ストレッチを行って出発する、トイレから石段を登り、林道を左に進んで大石ヶ平を目指す。新崎川に沿って林道を登って行くが、紅葉が見ごろでとても美しい。朝食を食べ過ぎた腹にはちょうど良い歩きで、林道を緩やかに登って行く。大石ヶ平で小休止し、衣服調整をしたら右の登山道へ入る。



ハコネダケの間の狭い登山道を抜け、ヒノキの植林帯に入ると分岐がある。左に行くと自鑑水から南郷山へと向かう。我々は右に整備された道を緩やかに登り、最後は少し急登を登りきると幕山山頂に出る。広々とした山頂からは相模湾から伊豆半島、真鶴半島などが望め、大勢の登山者が休んでいた。山頂標識の前で記念写真を撮り、草原に腰を下ろしてみかんやかきんとうを

いただく。後ろに若いお父さんと女の子のペア2組が座り、食べたそうに見ていた。

徳ちゃんがかりんとうをあげると「美味しい、もっと頂戴」というのであげるとお父さんに渡し、お父さん



さんも「これすごく美味しいですね」と食べていた。景色を楽しんだら下山開始する。下山は南側の尾根を、まっすぐに梅林目指して降りてゆく。丸太の階段の道を九十九折れに下ってゆくが、こちらを登ってくる人が結構多かった。相模湾や湯河原の街を見下ろしながら下り、途中の休憩舎で一休み。ここから少し下ると、切り立った岩壁が見えてくる。

岩壁にはロッククライミングを楽しむ人たちの姿が見え、ここを過ぎると梅林の道となり様々

な種類の梅が咲くようだ。梅の木に下げられた名札を見ながら下り、林道に出るとすぐ下に朝寄ったトイレがある。トイレを済ませて車に戻り、

靴を履き替えた後食事処へ向かう。ネットで探した福浦漁港の漁協直営の食堂に着くと行列ができており、係の人に時間を聞いたら1時間待ちとのことで諦める。国道35号線を小田原に向かって走ると、途中に干物直売と食堂の店があり寄ってみる。干物屋では地域振興券が使用でき、食堂は3組待ちなのでここで食べることにする。食堂は40分ほど待たされたが、味は抜群で皆さん大満足。「まるひ貝汁食堂」という店で、地元の漁業



組合員がやっている店と書いてある。値段はランチにしては少し高いが、食べてみたらとても美味しく納得できるお値段だ。満足して車に乗り込み、あとは運転手さんにお任せして帰路につく。

3連休二日目だったが、下りの車は渋滞もなく順調に走り、予定よりも早く岩船支所に帰着した。